

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2016年(平成28年)11月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第91号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】AAC21 検索

【公式ブログ】メコンの風に吹かれて 検索

【Facebook】https://www.facebook.com/aac21.net 検索

カンボジアへ初の直行便が就航

待ちに待ったカンボジアへの直行便がついに実現した。9月1日から全日空機が毎日1便、成田⇄プノンペン間を6時間で結ぶ。

朝11時に成田を出発すると、午後3時にはプノンペンに到着する。帰りは夜11時にプノンペンを出発すると翌日の朝6時、成田に到着する。(時差は2時間)

9月1日、成田国際空港とプノンペン国際空港で、チア・キムタ、カンボジア王国大使が出席して就航記念セレモニーが行

待ちは低い乗客率。関係者は懸念は見込んでいたというが、6割を見込んでいたというが、アンコールワットのあるシェムリアップに比較すると日本人観光客が少なくプノンペン、折角の直行便が廃止にならないよう多くの仲間に渡航を呼びかけているところだ。

直行便の就航は、プノンペンを拠点に活動する本会にとって追い風となった。すでに9月だけでも10人ほどの本会会員さんが直行便で渡航した。



チア・キムタ、カンボジア王国大使が出席して就航記念セレモニーが行われた(9月1日、成田国際空港で)



毎日就航する全日空機(プノンペン国際空港で9月8日撮影)

山本哲朗理事が逝去

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

日に退院も、翌日亡くなった。長年住み慣れた自宅での大往生だった。

山本さんは、1991年のカンボジア和平協定後再開した「カン

里親会員として、本会と関わりを持っていたが、この1、2年は病に伏していることが多く、連絡が途絶えがちだった。

奥様から訃報を聞き、8月25日、

開設当初から、理事として本会を支えてくださった山本哲朗さんが8月4日、老衰で亡くなった。93歳だった。3月から病気で入院治療していたが、回復して8月3

ボジア王国大使館(東京都港区赤坂)の特別補佐官として2013年10月まで勤務、退官後は自宅でのんびりと余生を過ごしていた。退官後も本会理事として、また

カンボジアについて学び、支援と交流を推進していきましょう

カンボジアセミナー

2016.12.23
JICA地球ひろば

日 時:2016年12月23日(金) 午後1時~4時

会 場:JICA 地球ひろば セミナールーム 201 (東京都新宿区市谷本村町 JICA 市ヶ谷ビル)

参加費:無 料

定 員:40名(定員になり次第締め切らせていただきます)

セミナープログラム

●本会のカンボジア活動報告会

講師=根岸恒次氏(NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会理事長)

●講演「カンボジアのいま」

講師=チア・キムタ氏(在日日本カンボジア王国特命全権大使(予定))

●カンボジア語を学ぼう「カンボジア語であいさつしよう」

講師=ノップ・ヴィサール氏(明治大学留学生)

●懇談会「カンボジアについて学ぼう!語ろう!」

主催/NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会

後援/在日日本カンボジア王国大使館

協賛/JICA地球ひろば

■申し込み・問い合わせは、本会事務局へ

TEL...03-3991-2854 FAX...03-3557-1213

E-mail...info@aac21.net



シアヌーク前国王にお会いする山本理事(左)(1995年5月、カンボジアで)

い。生涯現役を貫いた山本さんの人生に乾杯!

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】:子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】:年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】:最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】:里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年に開園した。現在10歳～18歳の11人の子どもたちが暮らし、近隣の小・中・高校に通っている。

■ 新入園の子

8月、ケム・ロッターちゃん(女子)が入園した。キリソコム小学校の里子として教育支援を受けていたが、両親がいないため本人の希望で入園した。11月から小学校6年生になる。



■ トンヘアン君、高校卒業試験に合格

高校3年生のトンヘアン君が高校の卒業試験に合格、大学へ進学する方向で準備を進めている。今年の高校卒業試験の合格率は、80%だった。



ストックアイトロミヤ神戸ユネスコ小学校(コンボンチュナン県・生徒数=250人)に建設中だった図書館が、このほど完成した。神戸ユネスコ協会が資金提供した。

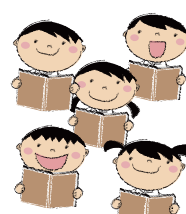
同会は11月17日～23日、カンボジアを訪問して18日に図書館の贈呈式を行う予定。



校舎の隣に完成した図書館



館内は断熱材を使用



神戸ユネスコ小学校に図書館完成

カンボジアの高校に1つの井戸が完成

9月は、カンボジアの高等学校に1つの井戸が完成、14日、根岸理事長が出席して贈呈式が行われた。

寄贈してくれたのは、「北海道札幌手稲高等学校家庭クラブ」の皆さん。

カンボジアの高校生は、日本の高校生からの寄贈と知り、とても喜んでいました。



井戸の完成を喜ぶ高校生たち

9月に完成した井戸の内訳

ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
① 北海道札幌手稲高等学校家庭クラブ	ソンダエック高等学校	889人	コンボンチュナム県

※通算の井戸設置数(2003年～)=286基(9月現在)

9月19日～30日、三林けい子さん(新潟市・里親会員)がカンボジアを訪問、諸活動を行った。24日には、2年前に校舎を寄贈した「トントロラッチにいがた小学校」を訪問、卓球やダンスをして子どもたちと交流した。また、教育支援している4人の里子を訪問した。



トントロラッチにいがた小学校の生徒たちと

三林けい子さんがカンボジア訪問

9月18日、カンボジアに滞在中の村上雄志さん(東京都世田谷区・里親会員)が、教育支援する3人の里子を訪問した。3人の里子は、住んでいる村が違って遠いため、ほぼ一日かけて訪問した。一人一人に丁寧に話をかけ、様子をうかがってプレゼントを届けた。



里子を訪問した村上さん(右から2人目)

村上雄志さんが教育支援する里子を訪問

9月10日、里親会員の吉田祐美さん(神奈川県)が、教育支援する里子を初訪問した。里子が小学生の頃から支援し、今は中学2年生になっていた。吉田さんは大学生だが、過去数回にわたりカンボジアを訪問、今回は、全日空機による直行便の初フライト便(9月1日)でカンボジアを訪問した。



里子を訪問した吉田さん(右)

吉田祐美さんが教育支援する里子を訪問

12日には、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、昼食にのぎりを作り、子どもたちと交流した。「優志の」皆さん、ありがとう。



夢ホームの子どもたちと

國學院大學国際協力サークル「優志」がカンボジア訪問

8月29日～9月17日、國學院大學国際協力サークル「優志」の皆さん(30人)がカンボジアを訪問、本会が支援する小学校や村で衛生指導などを行った。



ソカーオン佐々木小学校の生徒たちと



夢ホームの子どもたちと

2014年9月、「ソカーオン佐々木小学校」(コンボンチュナン県・生徒数1100人)に校舎を寄贈した佐々木テルさん(宮城県利府町、会員)が9月8日～10日、娘さんのお菓子セットとお米をプレゼントした。

9日に「ソカーオン佐々木小学校」を訪問、お菓子セットをプレゼントした。10日には夢ホームを訪問、お菓子セットとお米をプレゼントした。

佐々木テルさんが娘さんとカンボジア訪問

「SUNRISE JAPAN HOSPITAL」の開院式に出席した初鹿野恵蘭さん(認定NPO法人日本雲南聯誼協会理事長・本部「東京都新宿区」)が9月21日、本会が支援するキリソコム小学校を訪問、集まった子どもたちにお菓子セットをプレゼントした。



キリソコム小学校の子どもたちと

初鹿野恵蘭さんが子どもたちにお菓子をプレゼント

3年前、石川副理事長の資金協力で完成した図書館の屋根裏に鳥が巣を造り糞害がひどいため、鳥が入れないよう網をはる工事を開始した。



生徒と握手する石川副理事長

トロパントム石川小学校を訪問

9月13日、石川桂副理事長(愛知県安城市・里親会員)がトロパントム石川小学校を訪問、住民懇談会と、教育支援する10人の生徒、母親との懇談会を行った。

教育里子へのプレゼントについてお願い

●里子へプレゼントを届ける方法は2つです

①現地(カンボジア)購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、教育里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

- 自転車(大人用・中古品) 8,000円
- お米(50kg) 5,000円
- Tシャツ・サンダルセット 2,000円
(Tシャツ2枚&ぞうり1足)
- 本セット 1,000円
(絵本2冊/中学生以上は英語辞書1冊)
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,000円

②日本から持参

現物を練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。

里子家庭訪問記録

名前: ハムトウ・ソックミン	学校名: チェレイホーブンナグ高校
年齢: 18歳	学年: 高校3年生
住んでいる場所: コンボンスプー県 コンビセイ郡 ヴィールコミュニティ トロピアンボン村	
学校までの所要時間: 自転車でも20分	
好きな教科: 国語(特に本を読むのが好きです)	
苦手な教科: 算数(特に分数を解くのが苦手です)	
担任から一言: 成績:B 道徳:A 学校活動:A 健康:B 出席:B	
家庭状況: 両親は亡くなりました。現在、祖父母と暮らしています。2人姉妹で妹がいます。	
一日の過ごし方: 毎朝6時頃起きます。家の清掃をし、水を浴び、朝食をとります。それから、身支度をし学校へ通っています。昼食をとってから、家事の手伝いをします。午後は夕方までお祖母さんと田んぼへ行きます。夕食は6時頃摂り、本を読み、先生から出された宿題をします。10頃に寝ます。	
好きな遊び: 読書 好きな食べ物: マンゴスチン、サボジラ	
将来の夢: 医者になりたいです。	



ハムトウ・ソックミンちゃん

ハムトウ・ソックミンちゃんは毎日元気に学校に通っています。学校ではいつも良い成績をもらっています。叔父さんとお祖母さんは大切に面倒を見ています。彼女は里親さんからプレゼントと教育資金を頂いて、とても喜んでいます。ソックミンちゃんは明るくて、笑顔が良い子です。学校では掃除をしたり、花に水をやりたりしていました。家ではご飯を炊いたり、自分の服を洗濯したりしています。

現地スタッフ

クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、かつ貧しい家庭にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約390人の子どもたちを教育支援している。

9月から成田・フロンペン間にANAの直行便が就航したこともあり、数名の教育里親さんがカンボジアを訪問、教育支援する子どもにも会った。また9月のカンボジア滞在中、教育里親さんから預かったプレゼントを、合計17人の里子たちに届けた。届けられなかったプレゼントは、現地スタッフが後日届けることにしている。



村の子どもたちに寄贈品を届けた(くつを履いていない子どもが多い)

みに当たる「長いお休み」中、しかもお盆が重なり、村はいつもと違った異様な雰囲気だった。(根岸記)

調布市で写真展&活動報告会を開催

8月17日(21日、東京都・調布市民文化会館「たづくり」(みんなの広場)において、写真展「カンボジアの子どもたち」を開催、たくさんの方々が来てくれた。また、20日には同会場にて「活動報告会」を開催、8人が出席した。

開催に先立ち、根岸理事長がローカルラジオ局「調布FM」に出演、事前に広報を行った。岡本浩史さん(東京都狛江市・個人会員)が全面的に協力してくれた。



活動報告会の様子

サンライズ・ジャパン・ホスピタル 開院式に出席

9月20日、同病院の開院式がプノンペン市内で行われ、招待を受けて根岸理事長が出席した。医療法人社団北原国際病院(東京都八王子市大和田町)を営営する北原茂実理事長が、日本政府等の支援を受けて設立した。式には、カンボジアを代表してフンセン首相が出席、日本からは、小田原外務府政務官が出席した。式参加者は1000人を超えた。



病院を視察をするフンセン首相(中央) 右が小田原外務府政務官

投稿 お母さんのために頑張ります 「チエ・チャントン」

日本の皆さん、私はチエ・チャントンといいます。18歳です。小学校3年生から教育支援を受けましたが、家が貧しいため中学を2年で中退しました。今は縫製工場で働き、家計を助けています。工場勤務も3年になりました。

朝は5時半にトラックの荷台に乗り工場へ行きますが、60人も乗っていて身動きができません。午前7時から11時半まで働き、午後は12時半から4時まで働きます。月給は1400ドル(1万5千円くらい)です。兄弟はなく、病気の母と暮らしています。将来は結婚したいですが、できれば中国語や英語を勉強したいです。日本の里親さんは、私が学校をやめてからも生活を援助してくれています。私も頑張ってお母さんをささえていきます。



チエ・チャントンちゃん

農村で暮らす子どもたちの日常生活をのぞいてみました

田植え、稲刈りのお手伝い

田植えや稲刈りの時期になると、子どもたちは率先して農作業を手伝う。よその家の手伝いは、幾らか小遣いがでるそうだ。昔は日本でも、子どもも農作業を手伝い、駄賃をもらった経験がある人も多かった。田植えや稲刈りの時期になると、子どもたちは率先して農作業を手伝う。よその家の手伝いは、幾らか小遣いがでるそうだ。昔は日本でも、子どもも農作業を手伝い、駄賃をもらった経験がある人も多かった。



子どもの世話

女の子の世話は、年下の兄弟の面倒を見ること。お母さんは何かと忙しいので、年長の子どもが世話をしている。



移動販売

アイスクリーム販売のバイクに出会った。聞くと、フランスパンにアイスクリームを挟んで売るとか。現地通貨で500リエル(12円位)。子どものおやつだ。



床屋さん

村には小さな床屋がある。といつも、屋外で散髪するのがカンボジアスタイル。料金は散髪のみで、2000リエル(50円)。



コンビニはないけれど

カンボジアの農村には小さな店がある。昭和の時代にあった「駄菓子屋」を彷彿させるレトロな店だ。ここで子どもたちはお菓子を買い、野菜や日常生活品も売っている。日本のコンビニだ。



グローバルフェスタJAPAN2016に出展

10月1日～2日、お台場センタープロムナード(東京都内)で、恒例の「グローバルフェスタJAPAN2016」が開催、全国から約200団体が出展した。本会も2002年から15年連続で出店した。

両日とも天候に恵まれ、会報やパンフレットを配ったり、ブース内に掲示したカンボジアの写真を説明した。

1日には、別の場所で活動報告会を開催した。また、外務省主催の写真展が行われ、5月に亡くなった鈴木千雄さんが板金指導している写真を展示した。



お手伝いして下さった会員の皆さん(10月1日)

トウツサナー・カンボジア

※トウツサナーとは観察するという意味です

プノンペン市内では、近頃はトウツクが便利だが、2キロメートル以上ならメータータクシーの方が安いことが分かった。

トンレサップ川の対岸に「スシパー2号店」ができた。ホテルから遠いので、メータータクシーで行ったが、4ドルだった。しかも4人乗れ、エアコン付きである。帰路も電話するとすぐ来てくれた。シクロ→トウツク→タクシー→メータータクシーと変わり身の早いプノンペンである。

(中野勝・兵庫県宝塚市、理事)



メータータクシー

《夢ホーム》第28回鑄造による
アクセサリー作り技術講習会

榎戸徹彦さん(横浜市・理事、里親会員)は、ほぼ隔月にカンボジアを訪問、子どもたちを対象にアクセサリー作り技術講習会を開催している。36日に行った。

象の形のイヤリングや魚の形のペンダント、ヤシの木の形のイヤリングを製作している。

次回の講習会を、11月22日～26日に予定している。



技術指導する榎戸さん

紙の募金箱設置の
ご協力をお願いします

本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。

折りたたみができ簡単に送ることができます。貯まったお金は郵便局から振替用紙を使って送金ができます。(小銭は郵便局で数えてくれます。)

お電話いただければすぐにお送り致します。



写真展「カンボジアの子どもたち」をJICA地球ひろばにて開催

12月11日～25日、JICA地球ひろば(東京都新宿区市谷本村町)で写真展「カンボジアの子どもたち」を開催、約30点の写真・ポスターを展示します。12月23日には、「カンボジアセミナー」も開催しますので、足をお運びください。



お悔やみ申し上げます

6月29日、中野朝枝様(長崎市・里親会員)が病氣のため逝去されました。71歳でした。

また、8月5日、岡坂好泰様(岡山県・里親会員)が病氣のため逝去されました。82歳でした。

長い間ありがとうございました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

懇親会(忘年会)を開催します

会員相互の親交を深めるため、忘年会を開催いたします。参加をご希望される方は、事務局へお申し込みください。

■日時: 12月10日(土)

正午から2時半まで

■会場: レストラン「サンアロハ」(横浜山下公園近く)

■会費: 4千円(振込票にて事前にお支払いください)

※お申込みされた方へ会場までの地図を郵送いたします。

新しい仲間が増えました

2016年8月～9月の2か月間で、2名の教育里親会員様3名の個人会員様が新規に加入してくれました。ご協力ありがとうございました。

活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年3回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

会員として

・個人会員(年額1口5千円)
・法人会員(年額1口1万円)
・教育里親会員
(年額里子1人につき3万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替銀行振込、現金書留で。

〈郵便振替口座名〉
21世紀のカンボジアを支援する会
(口座番号)
00130-01160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へご報告ください。

※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご報告ください。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■第34回「カンボジアふれあいの旅」は、10人ほどの会員様が参加して11月3日～9日に行われます。詳細は次の会報で報告いたします。旅の安全をご祈念ください。寄付金控除が可能となる認定NPO法人資格を取得するための申請書を、9月30日に東京都庁へ提出いたしました。認定可否は6カ月後に分かりますが、仮に不認定であっても次の年に再申請するつもりです。より一層努力いたしますので、あたたかく見守ってください。

9月～10月の予定

- 会報「アンコールワット」11月1日付第91号発行
- 第34回「カンボジアふれあいの旅」(11月3日～9日)
- 会員懇親会(忘年会)(12月10日、横浜・サンアロハ)
- 今年度第3回理事会(12月10日、横浜・サンアロハ)
- 写真展「カンボジアの子どもたち」(12月11日～25日、JICA地球ひろば)
- カンボジアセミナー(12月23日、JICA地球ひろば)

成田空港⇄プノンペン空港間に直行便が就航しました

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・小学校の贈呈式、学用品配布など

第35回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どものちとの交流をはかることができます。

特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。

旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。又、希望者には「アンコールワット日帰り観光」を用意しました。募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、会員以外の方は、事前に会員登録(年間一口5,000円)が必要になります。



夢ホームを訪問します

里子の家を訪問します

■ お問い合わせ・申し込み
旅行企画☆特定非営利活動法人
21世紀のカンボジアを支援する会
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL: 03-3991-2854 / FAX: 03-3557-1213

【旅行期間】2017年3月8日(水)～3月14日(火)(5泊7日)

【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)

先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

【滞在ホテル】ミトホテル(プノンペン)5泊

【利用空港】成田空港、関西空港、その他

【旅行日程】8日=成田空港から全日空の直行便でプノンペンへ(他空港からの出発も可能です)

9日=小学校を訪問、井戸の贈呈式に出席

10日=自由行動(希望者のみアンコールワット日帰り観光あり)

11日=教育支援する里子の家を訪問

12日=夢ホームを訪問・交流、マーケットで買い物

13日=プノンペン市内観光、午後6時頃ホテルチェックアウト→プノンペン国際空港から帰国の途へ(空港にての現地解散になります)

14日=午前、成田空港(その他の空港)

【旅行代金】12万円から13万円*現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。
*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*海外旅行保険は各自でおかけください。*カンボジア入国ビザを取得するため、現地空港で30ドルがかかります。*アンコールワット日帰り観光ツアーは約3万円がかかります。(往復航空便を利用)

【締切日】2017年1月20日(金)